



2018年第2四半期決算

2018年11月1日
鉦研工業株式会社

決算の概要(第2四半期累計)

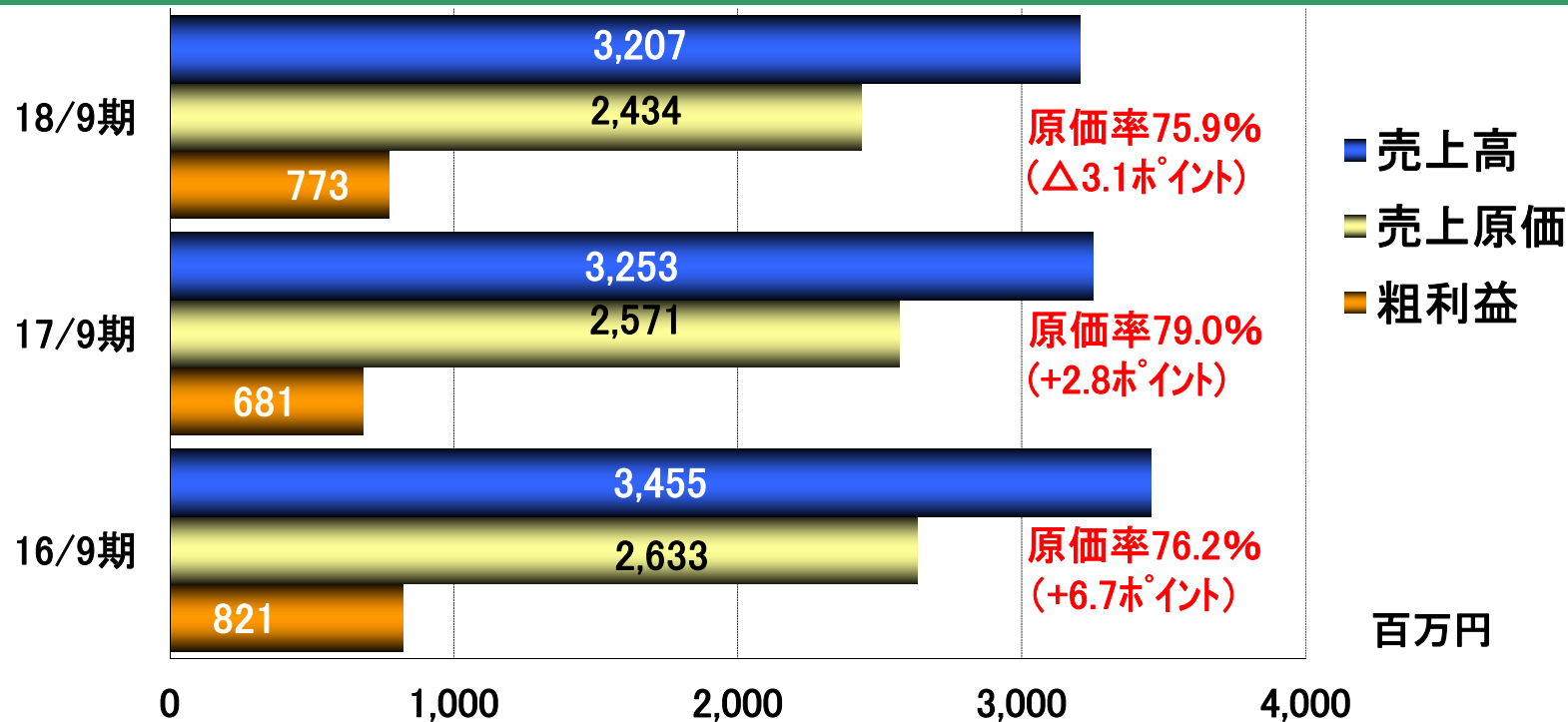
1

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	17/2Q	18/2Q	増 減	17/2Q	18/2Q	増 減
受注高	4,087	4,063	△23	3,716	3,761	44
売上高	3,253	3,207	△46	2,935	2,913	△22
営業利益	△84	9	94	△102	△17	85
経常利益	△85	9	94	△106	△18	87
四半期純利益	△111	9	120	△123	△13	110
	18/3末	18/9末	増 減	18/3末	18/9末	増 減
総資産	7,784	7,717	△67	7,410	7,371	△39
有利子負債	1,210	1,094	△115	1,210	1,094	△115
自己資本	3,451	3,420	△30	3,366	3,308	△58
(自己資本比率)	(44.3%)	(44.3%)	(0.0p)	(45.4%)	(44.9%)	(△0.5 p)
(D/EレシオNET)	(-0.01倍)	(-0.01倍)	(+0.01)	(0.08倍)	(0.03倍)	(△0.05)

2018年2Q決算(連結)のポイント

2



- 売上高: 前年同期比 Δ 46百万円減、原価率: 同 Δ 3.1ポイント減
- 売上高は減少したものの前年同期に発生した一部大型案件の原価高発生はなくなり、原価率が改善し、粗利益は+91百万円増
- ボーリング機器関連: 売上増+49百万円(RPD機、中国向け特機の出荷が貢献)
原価率: 前年同期比 Δ 5.3ポイント減
- 工事施工関連: 売上減 Δ 95百万円(特殊大型工事のサブドレイン掘削工事が前年同期に終了)、原価率: 前年同期比+0.2ポイント微増

要約連結損益計算書

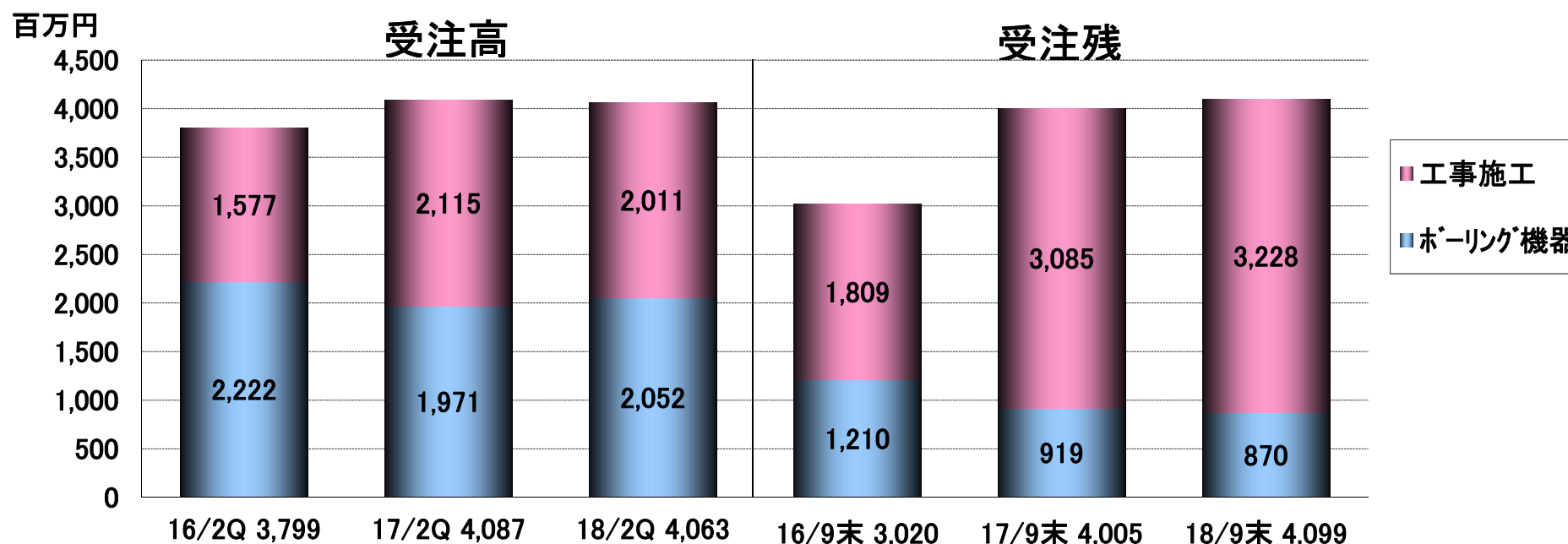
3

(単位:百万円)

	17/2Q	18/2Q	前年同期比増減	
売上高	3,253	3,207	△46	△1.4%
売上原価 (原価率)	2,571 (79.0%)	2,434 (75.9%)	△137 (△3.1p)	△5.3%
売上総利益	681	773	91	13.4%
販売費管理費	766	763	△2	△0.4%
営業利益	△84	9	94	—
営業外損益	△0	△0	0	△31.6%
経常利益	△85	9	94	—
特別損益	△0	0	0	—
法人税等	24	△1	△26	△107.3%
非支配株主利益	1	1	0	87.1%
四半期純利益	△111	9	120	—

受注状況…受注高は前年同期比△0.6%減

- 受注高は4,063百万円、前年同期比△23百万円減
～ボーリング機器は、国内では機械本体を中心に受注確保、海外はODA水井戸案件がなく前年同期比では減少したが、中国向け大型機械案件受注があり、受注高全体では前年同期比+80百万円増
～工事施工は、トンネル先進調査工事、温泉工事の受注が伸びるも、前年同期は特殊大型工事(サブトレイン工事)があったため、受注高全体では前年同期比△103百万円減
- 18/9末受注残は4,099百万円、前年同期比+94百万円増



売上高…前年同期比△46百万円(△1.4%)減

- ボーリング機器1,876百万円、前年同期比49百万円増

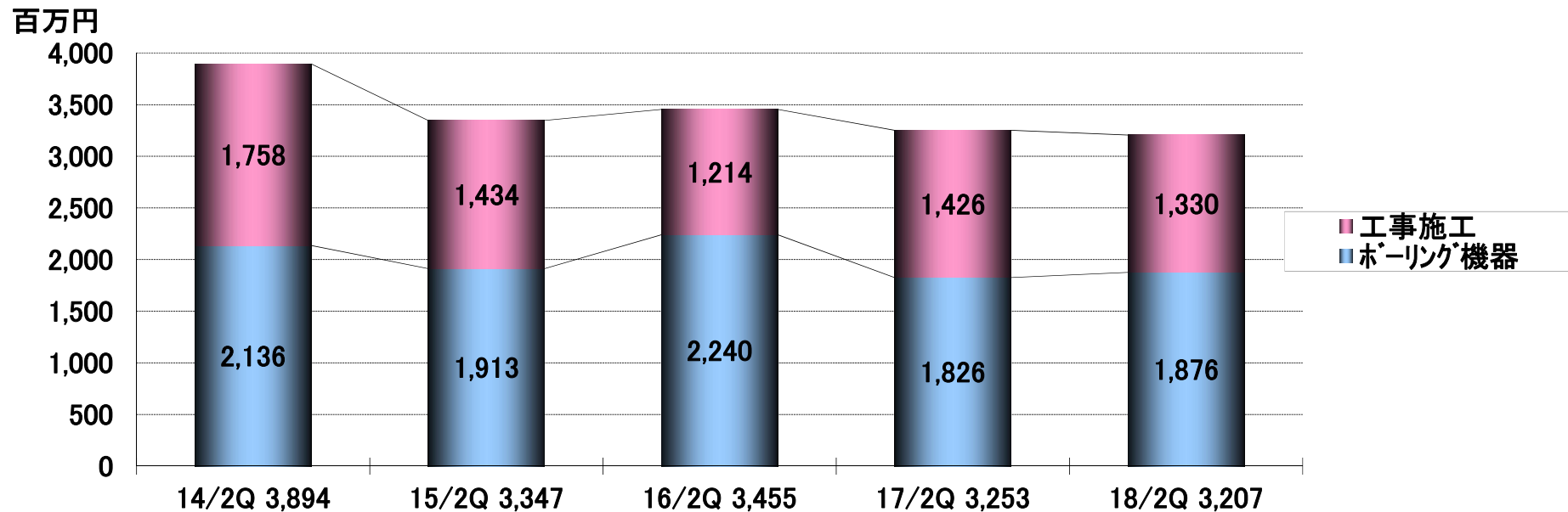
国内販売は主力ボーリングマシンRPD機と関連機材を中心に出荷するも前年同期比△1.8%減

海外販売はODA水井戸案件はないものの、大型機械である中国向け特機(人命救済用掘削機FS-120CZ 3号機)の出荷があったため、前年同期比32.5%増

- 工事施工1,330百万円、前年同期比△95百万円減

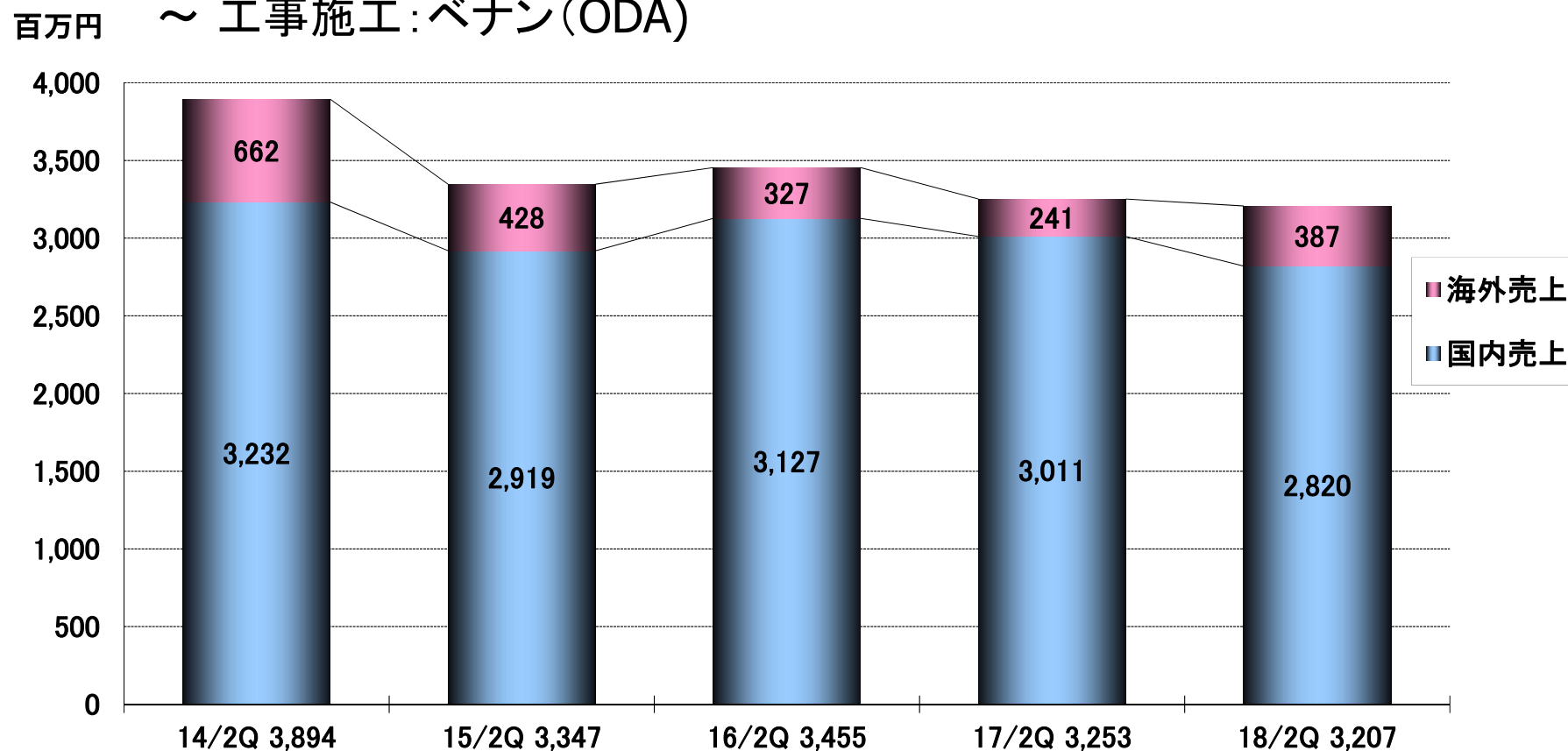
国内工事はトンネル先進調査工事、温泉掘削工事、アンカー工事を中心に完工したが、特殊大型工事(サブトレイン工事)が終了したため、前年同期比△11.4%減

海外工事はアフリカでのODA工事が完工(前年同期は案件なし)



海外売上高…前年同期比60.1%増

- 海外売上は387百万円、前年同期比145百万円増
～海外売上高比率12.1%
- ホーリング機器海外売上+78百万円増: 工事施工海外売上+66百万円増
～ホーリング機器: 中国、ベトナム、シンガポール、ミャンマーへの機械本体・部商品
～ 工事施工: ベナン(ODA)



地域別売上高

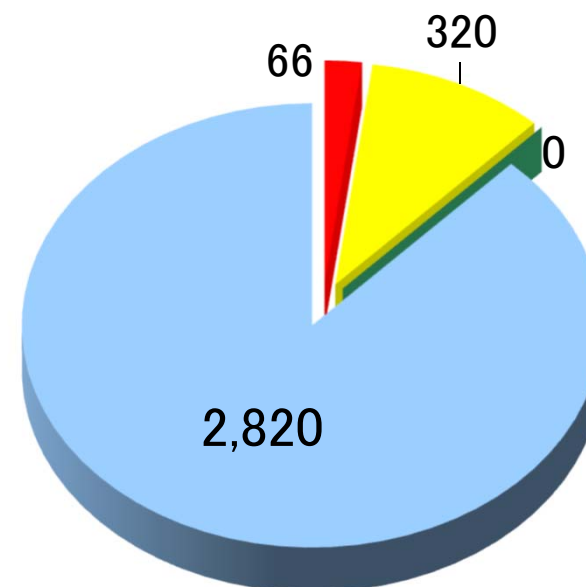
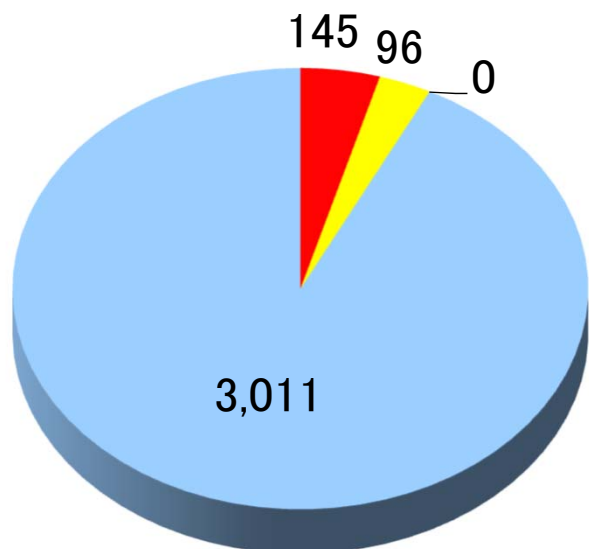
17/2Q

- <アフリカ> マリ(ODA販売)
- <アジア> 中国、スリランカ、シンガポール(販売)
ミャンマー(ODA販売)
- <その他> ロシア(販売)

18/2Q

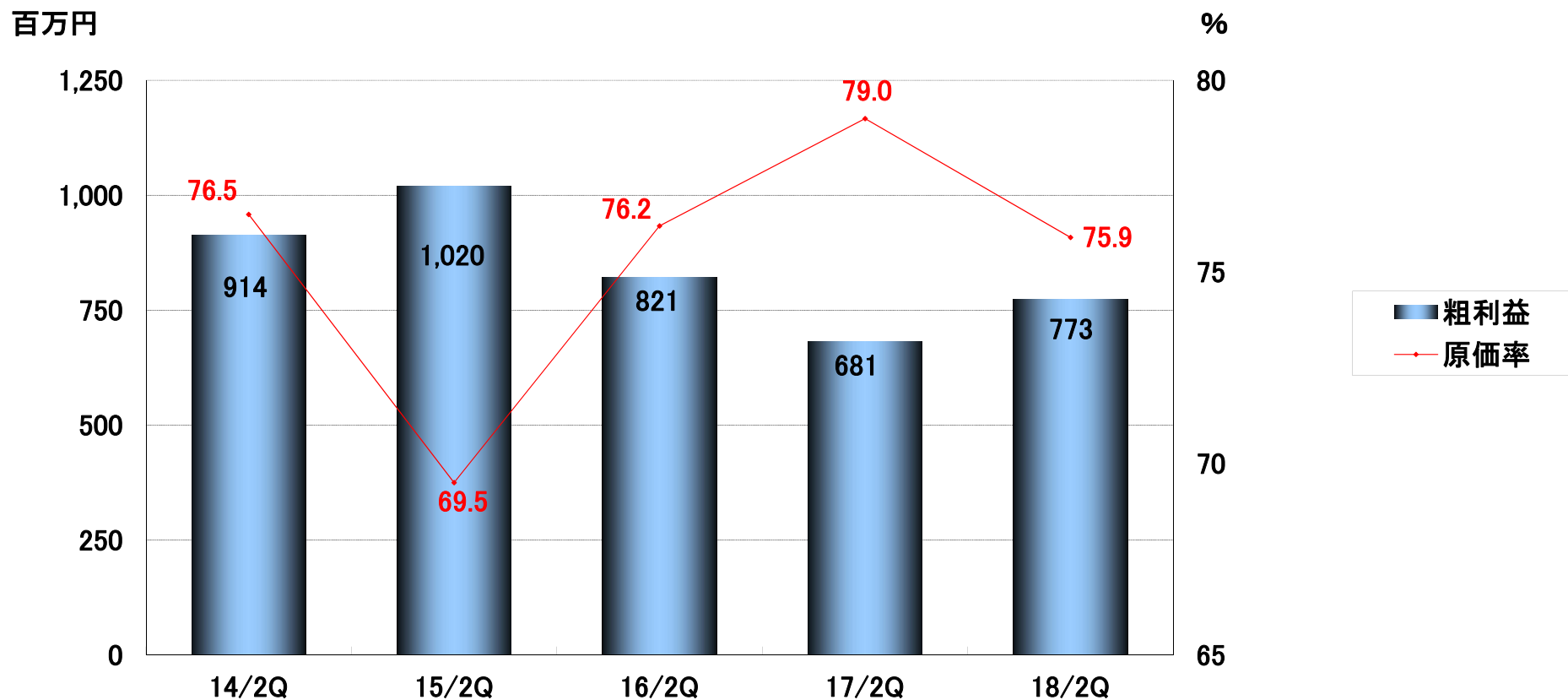
- <アフリカ> ベナン(ODA工事)
- <アジア> 中国、ベトナム、シンガポール、ミャンマー(販売)
- <その他> ロシア(販売)

(単位:百万円)



粗利益の推移…前年同期比13.4%増

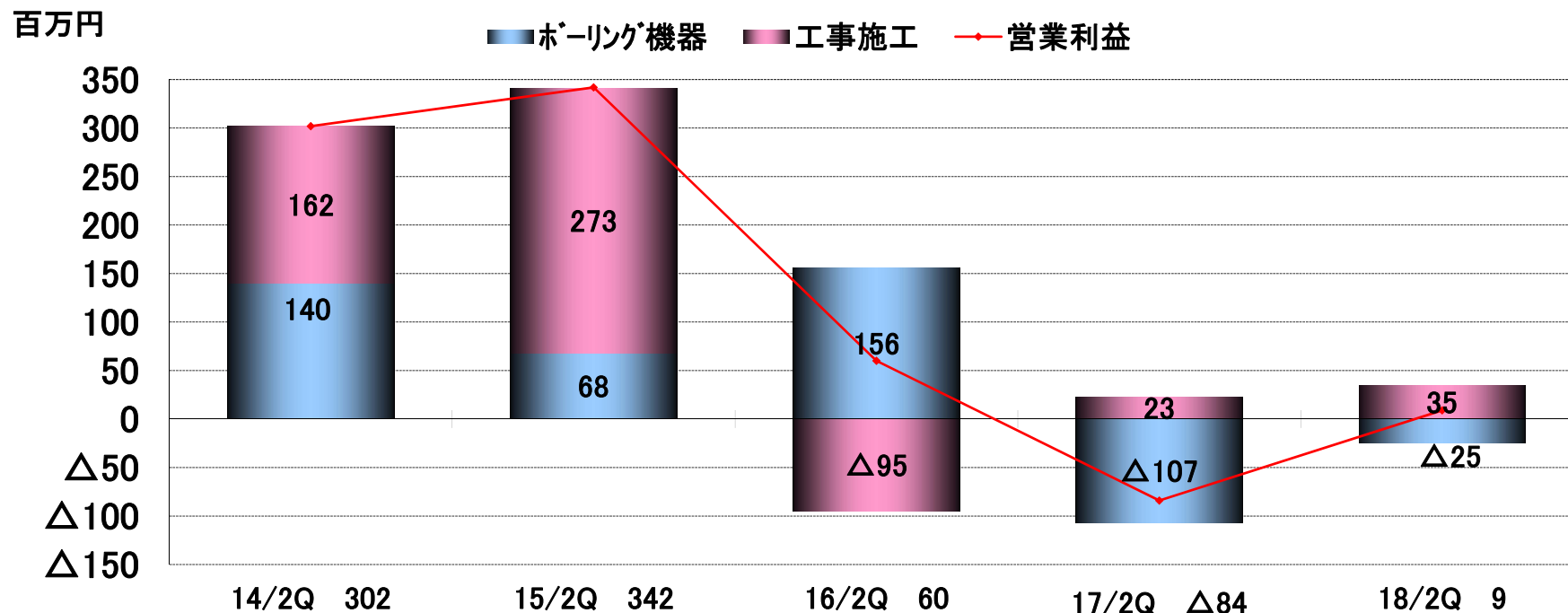
- 粗利益は773百万円、前年同期比+91百万円増(原価率△3.1pダウン)
 - ～ボーリング機器関連では前年同期に発生した特機及び海外ODA販売の原価高の発生がなくなり粗利益は+111百万円増加
 - ～工事施工関連では売上高は△95百万円減少したが、原価率は前年同期並みであったため、粗利益は△19百万円の減少に留まる



営業利益(セグメント利益)

9

- 営業利益9百万円、前年同期比94百万円増
- ホーリング機器関連は△25百万円のセグメント(営業)損失
～ 特機による原価高案件は発生せず原価率改善、売上高も前年同期比49百万円増加したが、固定費カバーするに至らず若干のセグメント損失(前年同期比較では+82百万円改善)
- 工事施工関連は35百万円のセグメント(営業)利益
～ 売上高は前年同期比△95百万円減少したが固定費負担減により、セグメント利益は12百万円増の35百万円



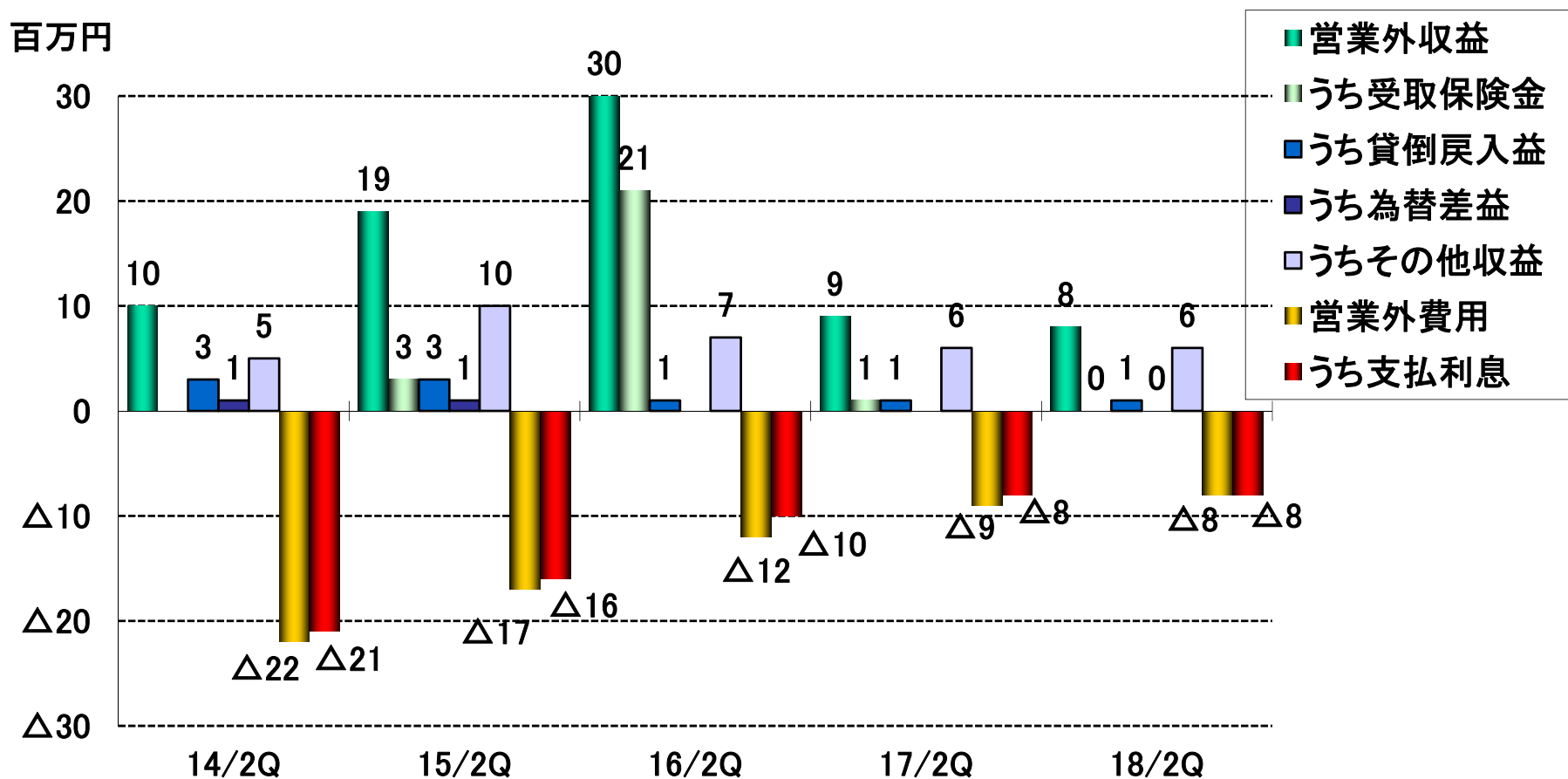
営業外損益

- 営業外収益・・・△1百万円減少

前年同期は受取保険金1百万円計上

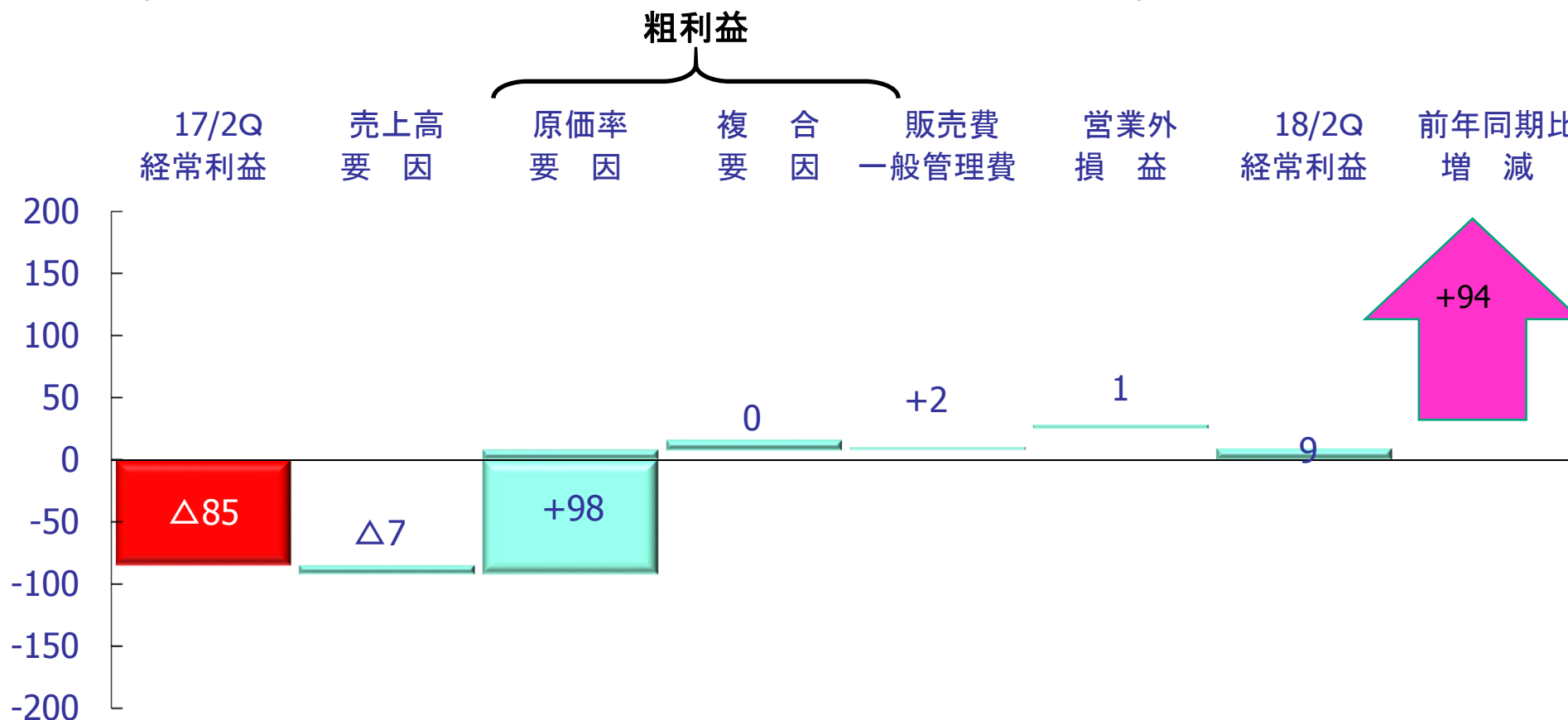
- 営業外費用・・・△1百万円減少

支払利息及び手形売却損△1百万円減



前年同期との経常利益差異要因

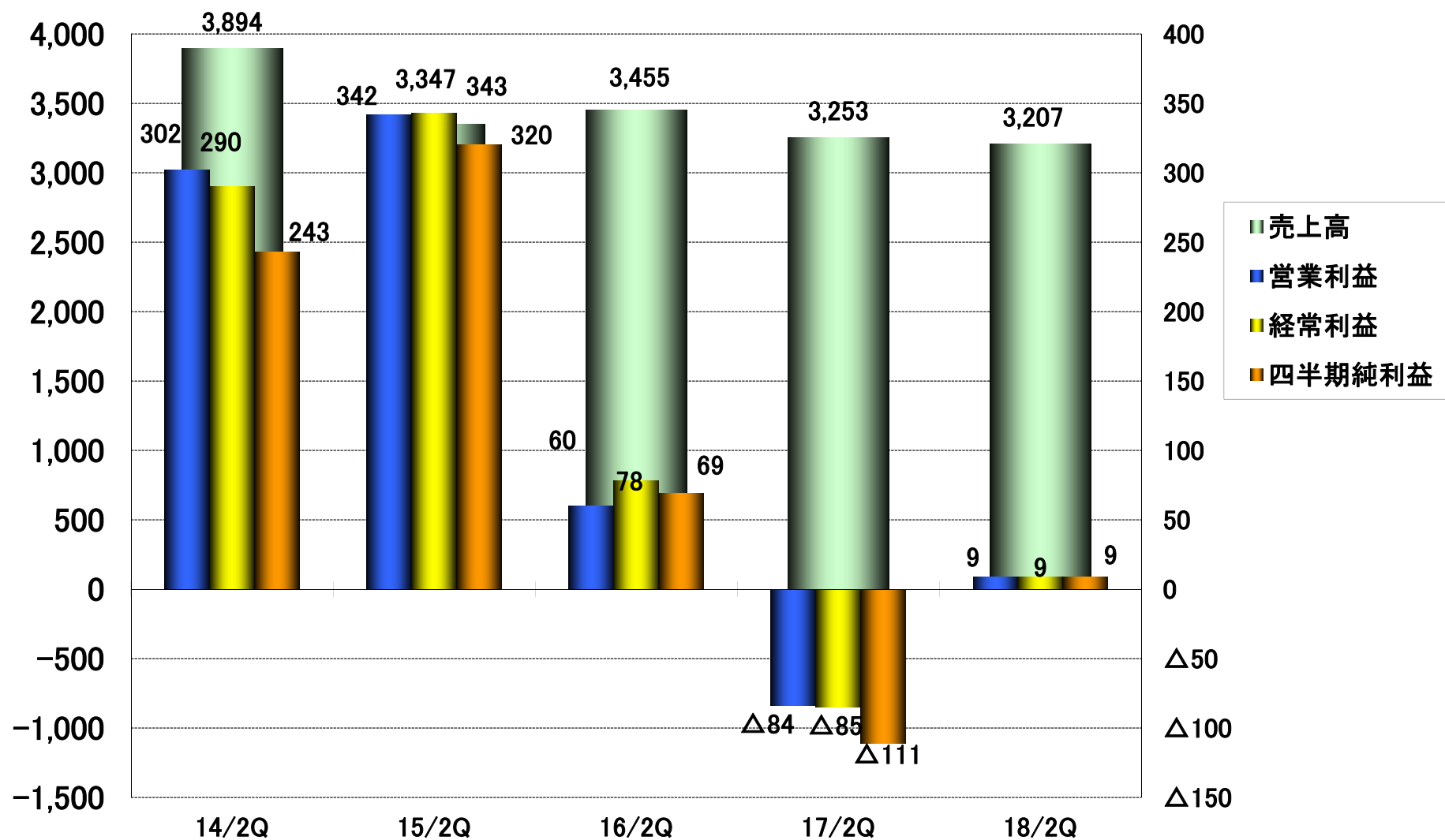
- 粗利益は前年同期比+91百万円増
 ~売上高減(△46百万円)により△7百万円減益となるも、原価率改善で(79.0⇒75.9%)で+98百万円増益
- ~販管費減により+2百万円増益、営業外損益で+1百万円
- 結果、経常利益9百万円(前年同期比+94百万円の利益増)



売上高・利益の推移

百万円

百万円



連結貸借対照表の概要(資産)

- 総資産は7,717百万円、△67百万円減
 - ～ 流動資産は売上債権4百万円増加、棚卸資産はボーリング機器関連で64百万円と工事施工関連で未成工事支出金が61百万円増加で未収入金△43百万円減少、現金・預金が△134百万円減少で△48百万円減少
 - ～ 固定資産は30百万円の設備投資と繰延税金資産増加14百万円、減価償却△40百万円実施と保険積立金解約△18百万円により△18百万円減少

(単位:百万円)

	18年3月末	18年9月末	増 減
現金及び預金	1,250	1,116	△134
売上債権	2,298	2,302	4
棚卸資産	2,231	2,356	125
その他流動資産	111	67	△44
流動資産計	5,892	5,843	△48
有形固定資産	1,497	1,488	△9
無形固定資産	25	23	△1
投資その他資産	368	361	△7
固定資産計	1,892	1,873	△18
資産合計	7,784	7,717	△67

連結貸借対照表の概要(負債・純資産)

14

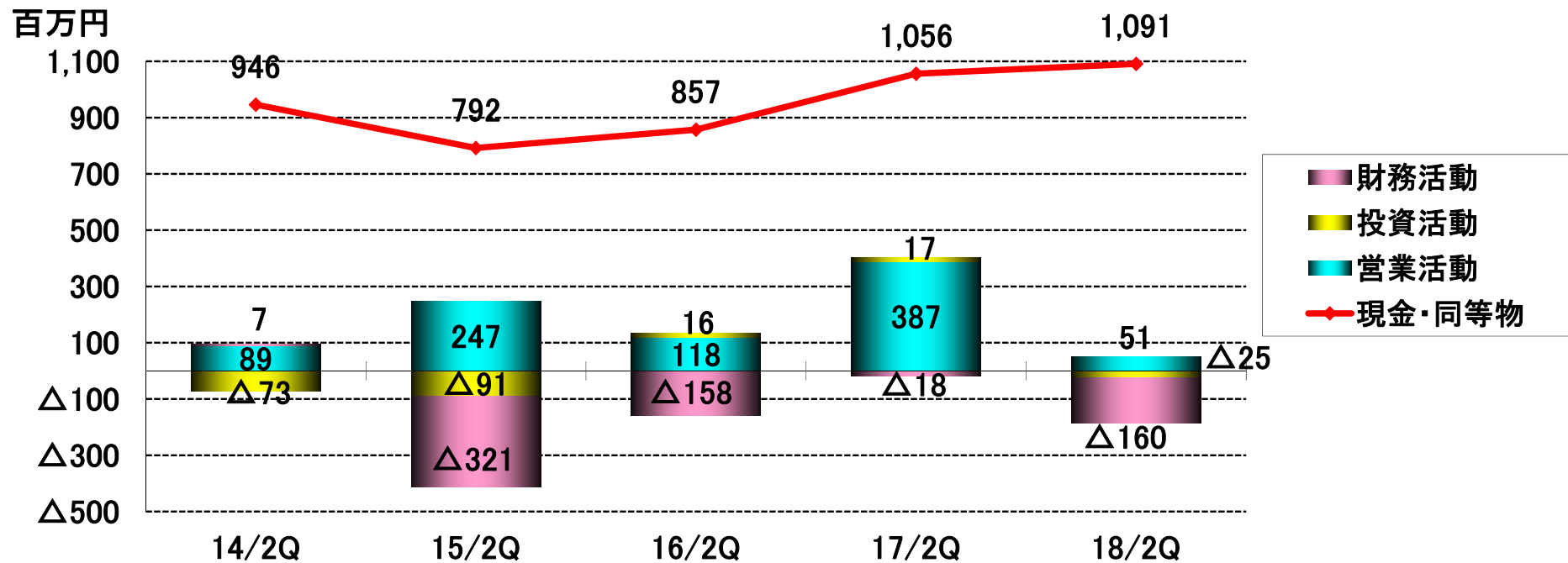
- 負債は主に買入債務が増加、また、仕掛工事増により未成工事受入金が増加、借入金は返済により減少
- 純資産は△28百万円減少し3,433百万円に(自己資本比率44.3%)
～純利益9百万円、配当金△44百万円、その他の包括利益4百万円
非支配株主持分1百万円

(単位:百万円)

	18年3月末	18年9月末	増減
買入債務	1,500	1,594	93
短期借入金	707	670	△37
長期借入金	503	424	△78
その他	1,611	1,594	△16
負債合計	4,322	4,283	△38
資本金	1,165	1,165	—
資本剰余金	0	0	—
利益剰余金他	2,140	2,105	△35
その他包括利益他	156	162	6
純資産合計	3,462	3,433	△28
負債・純資産合計	7,784	7,717	△67

キャッシュ・フロー(CF)

- 営業CFは、たな卸資産の増加△130百万円等による支出に対し、仕入債務の増加89百万円、未払費用の増加43百万円、未成工事受入金の増加56百万円等により51百万円の収入
 - 投資CFは、会員権売却収入3百万円に対し、固定資産の新規取得△28百万円の支出により△25百万円の支出
 - 財務CFは、100百万円の借入に対し、△215百万円の返済と配当金△44百万円の支払により△160百万円の支出
- ～ 現金・現金同等物の期末残高は、期首に比べ△134百万円減少し1,091百万円に(前年同期比では+35百万円)



2019年3月期通期連結業績予想修正

16

- 売上高は、リニア中央新幹線関連で、ボーリング機器関連、工事施工関連ともに受注・売上が翌期へずれ込む恐れがあるため前回予想を下回る見通し
- 第2Q損益実績と前回予想からの売上高減少見込を踏まえ、営業利益は前回予想より△220百万円減の200百万円、経常利益も前回予想より△210百万円減の200百万円、税引後の当期純利益は150百万円を予想
- (参考)前期実績:2018年3月期
売上高7,448百万円、営業利益71百万円、経常利益69百万円、当期純損失△30百万円

(単位:百万円)

	前回予想	今回修正	増 減	
売上高	7,980	7,100	△880	△11.0%
営業利益	420	200	△220	△52.4%
経常利益	410	200	△210	△51.2%
当期純利益	320	150	△170	△53.1%

注) 上記予想は、当社が本日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。